

■米国：ハリケーンによりテキサス州南東部で30万世帯規模の停電発生

2017年8月25日現地時間午後10時頃、ハリケーンの強さを示す5段階のうち2番目に強いカテゴリ4のハリケーン「ハーベイ」がテキサス州南東部に上陸した。テキサス電力信頼度協議会（ERCOT）によると、上陸前の午後7時時点で7万世帯以上の家庭が停電し、26日午後2時には30万世帯以上まで被害が拡大した。その後、勢力が弱まり熱帯低気圧に変わったものの、上陸後3日経った28日午後5時においても依然としてテキサス州南東部へ供給する主要な345kVの送電線をはじめ、多くの高圧送電線が使用できていない状況で、その上、停電している家屋の多くは冠水しているため、復旧にはしばらく時間がかかる見通し。ハリケーン上陸以降、設備損壊と気温の低下により、ERCOTの最大電力は4,400万kW以下と例年8月の需要より2,000万kW程度下回る水準となっている。